

NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

**KECA ニュース No.71**



信州の紅葉 2021年11月

～目 次～

- p. 1 1. 「かながわ」に地域循環共生圏をつくる 副理事長；河野健三  
p. 3 2. 【はま定例会 30分講話報告】 =横浜支部= 岸 高志  
p. 5 3. 【委員会の活動】 =環境教育委員会= 委員長 岡本正義

## 1. 【会員投稿】 「かながわ」に地域循環共生圏をつくる

### ～中小企業参加型 地域循環プロジェクトの立上げ～

副理事長 組織基盤強化グループ 河野健三

#### (1). はじめに

1) KECA は2019年11月にそれまでの基本方針を見直し、次の通りとしました。

① 市民、企業および行政とのパートナーシップの形成と SDGs の実現に努め、環境に配慮した地域社会づくりに貢献する。

② 自ら楽しみながら活動し、生き甲斐の持てる会の実現を図る。

2) 「環境に配慮した地域社会づくり」を進めるにあたって、私は2018年に閣議決定された第5次環境基本計画にある「地域循環共生圏」を念頭に進めたいと考えています。それは「各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す」という考え方です。

3) KECA の役割は「地域社会づくりのお手伝いをする」ことにあると考えています。地域社会づくりの担い手は市民・企業・学校・行政ですが、私としては中小企業のお手伝いをしたいと考えています。KECA には20年以上にわたる地域の企業・学校・行政・関係団体等（ステークホルダー）との繋がりがあり、又、2003年から①横浜、②川崎、③横須賀三浦、④湘南、⑤相模原、⑥県央、⑦西湘の7地域（支部体制）で神奈川県全域を視野に入れて活動してきました。これらの経験と実績を活かした地域社会づくりを進めたいと考えています。

#### (2). 中小企業参加型 地域循環プロジェクトの立上げ

1) 本プロジェクトの狙いは個別企業が抱える課題に対して KECA として出来るだけのお手伝いをして環境に配慮した地域社会づくりに貢献する企業になって頂くことにあります。

2) KECA は発足当初から EA21のコンサルと審査を行ってきており、多くの中小企業とのつながりがあります。又、EA21を含めた様々なマネジメントシステムの支援を行ってきた審査員と企業支援に豊富な経験と実績を持つ多数の会員がいます。

3) 2) を踏まえて、企業が使用する資源・原材料を出来るだけ地域内で循環させようという考え方で中小企業参加型地域循環プロジェクトを立ち上げます。

4) 昨年度は組織基盤強化事業として8つのプロジェクトを立上げました。中小企業参加型の本プロジェクトは既に設定済のプロジェクトと本年度以降立上げる新しいプロジェクトを含み順次、加えていきます。

#### (3). 新しいプロジェクトと地域循環のきっかけづくりとなる活動経験の募集

1) 私は8つのプロジェクトの一つ No. 3で「SDGs で地域貢献する中小企業支援セミナー」を計画中です。

2) 私の主な活動経験は2014年に環境省から委託された「学校給食用牛乳びんの導入支援に向けたモデル事業」と東日本大震災をきっかけとした福島との9年間に亘る交流会です。

環境省のモデル事業では2019年の7月に「学校給食牛乳を教材とした廃棄物処理の適正化」について神奈川県知事へ提言し、福島交流会ではよこはま夢ファンドで交流会の冊子をつくりました。

3) これらの経験をきっかけづくりとして企業のニーズ・課題について御用聞きを行いながら、その企業がどのようにすれば環境に配慮した地域づくりに貢献できるか、について企業と一緒に模索していきたいと考えています。

会員の皆様の新しいプロジェクトと地域循環のきっかけづくりとなる活動経験の応募をお願い致します。一緒にかながわ地域循環共生圏をつくって行きましょう。 以上

## 2. はま定例会（2021年11月26日）30分講話報告 岸 高志（横浜支部）

「東京2020オリンピックボランティアに参加した経験」と「世界最大の慈善事業基金であるゲイツ財団の取組みとパーパス経営」についてお話しします。

### （1）「東京2020オリンピックボランティアに参加して」



東京2020オリンピック閉会式の写真、アクレディテーションカード、マニュアルなど、橋本聖子さんよりの感謝状

### 【東京2020オリンピックボランティアの経験】

東京オリンピックは新型コロナウイルス感染拡大により1年延期されました。開催された2021.6-8はまだ高齢者へのワクチン接種が始まったばかりで、感染が全国に拡大していました。私自身は2回目の接種が終わった直後でした。私は大会ボランティア80,000人の内、10,000人程度が担当したフリートサービス（大会関係者の車での送迎）を担当しました。東京オリンピックのために開発されたナビの不調など不都合はありましたが、ボランティアの皆さんの前向きな対応、ボランティア同士の情報交換等によりステークホルダーの皆さんに喜んで頂いたのではないかと考えています。ボランティアの皆さんはボランティア精神にあふれ、東京オリンピックを盛り上げることに喜びを感じている素晴らしい方々でした。全国から駆け付け、仕事を休んで、ホテルを借りる（もちろん自腹で）、深夜（場合によりAM1:00過ぎまで）に及ぶ勤務もありながら生き生きと取り組んでいました。エピソードを1つだけ紹介します。西アフリカの国の大会関係者を埼玉県の会場に連れていくミッションでした。もともと移動時間に余裕がなかったことに渋滞が重なり車が動かなくなりました。車載のナビゲーションが不調で、大会関係者はタクシーで行くから降ろしてくれと言い出す始末でした。困って

いますと、通訳（関西から来たボランティア）が「私がナビになります」と宣言し会場の方向だけを頼りにナビの画面を手でなぞりながら、渋滞のないルートを探し、お陰で何とか間に合うことができました。その場で考え行動し、協力して問題を解決するボランティアの生き生きとして活動する姿に感動したことを憶えています。また、ユニホームを着て歩いていると、見知らぬ人から感謝の気持ちを表されるのも新鮮な経験でした。

## （2）ゲイツ財団の取組みと OKR（目標と主要な結果：Objectives Key Results）

ゲイツ財団は私立基金では世界最大です。2000年、ビルとメリンダは、極度の貧困を終わらせることを目標として、2.5兆円寄付し財団を設立しました。2006年ウォーレンバフェットが3.5兆円の株を抛出。「イノベーション」「科学的根拠」「コラボレーション」「楽観主義」を活動の柱として世界の保健衛生と開発支援を中心に毎年40億ドル（およそ4,400億円）超を抛出しています。

結果を重視するプロジェクトを展開し、例えばエーザイを含む多様な提携先とのコラボレーションで達成した、これまで無視され続けた「顧みられない熱帯病」の薬による2億700回の薬物療法投与で、ギネス世界記録にもなりました。ビルゲイツは「アンディ・グローブ（1968年創業のインテルの創業者の一人、1971に OKR の構築を始めた。OKR の父と呼ばれている。）が OKR を使って社員の活動を管理する様子を見てきた。」ことを考慮し OKR を導入しました。OKR はインテル、グーグルなどの名だたる企業で採用されその成長を支えました。OKR の4つの特徴は①優先事項にフォーカスし、コミットする。（目標を絞り込む）、②アライメントと連携がチームワークを生む(日々の活動を組織のビジョンに合わせる。部門の垣根を超えた水平的連携)、③進捗をトラッキングし、責任を明確にする（内容の見直し或いは状況の変化に適合させる）、④驚異的成果に向けてストレッチする（失敗するかもしれない OKR を書くのは勇気がいるが、最高の結果を出したければそうするより他はない）です。

### 【パーパス経営についてとまとめ】

新型コロナウイルスの拡大により、人々の意識や行動は大きく変化しました。SDGs の達成に向けた取組も加速しており、企業はこれまで以上の社会課題への対応を求められています。2008年のリーマンショックを契機として、利益追求型の企業や金融機関が倒産し、世界で経営の見直し機運が高まり、ガバナンス重視の方向へシフトしました。2009年ゴールデン・サークル理論が提唱され（サイモン・シネック氏が提唱した理論。WHY（なぜ）は目的や存在意義などを問うものだと述べた。）2015年に SDGs が採択され、ESG 投資が活況になりました。そして2019年米経済団体が「パーパス経営」を提唱（米経済団体、ビジネス・ラウンドテーブルが、株式至上主義を見直し、企業のパーパス（存在意識）について新たな方針を発表し、顧客、社員、環境、社会などへの配慮なくして、企業の長期的成長は望めないと表明しました。）

オリンピックを盛り上げたいというボランティアの前向きかつ純粋な熱意、OKR の手法により世界の保健衛生と開発支援を中心に毎年40億ドル（およそ4400億円）超を抛出し成果を出している「ゲイツ財団」、1998年の創立以来「世界中の情報を整理する」というミッションを達成したグーグル。そしてポストコロナ時代に脱「利益至上主義」が加速化し「パーパス経営」への潮流が確かなものとなっ

ています。その中で KECA のより活発な活動への要求は益々高まっているのではないのでしょうか。本投稿が KECA 会員の皆様の活動にわずかでもお役に立ったのであれば幸いです。（2021.11.26横浜支部・定例会の発表内容をまとめました。引用：メジャー・ホワット・マターズ ジョン・ドーア、日本経済新聞（2021.10.20,28）など） 以上

### 3.【委員会の活動】

#### =環境教育委員会= 環境教育委員会委員長 岡本正義

##### (1) .神奈川県環境・エネルギー学校派遣事業として、小学校2校の出前授業を実施した

9月22日（水）と24日（金）に海老名市立柏ヶ谷小学校4年生に「ごみと SDG s ～あなたはどうやってごみを減らしますか？～」をテーマに授業を実施した。この学校では1学期に SDG s を学習したが、なかなか児童に理解させるのは難しかったので、何とかできませんか？とのことで KECA としてプログラムの立案に知恵を絞った。コロナ禍ではあったが、グループワークは注意して行うことを了承して頂いた。そこで副題にあるようにごみをテーマにして、クラスを6つのグループに分け、各グループがそれぞれ1つのごみについて、どうしてごみになるのかの原因を引き出し、次にごみとしない工夫をグループメンバーが導き出した。ごみとしないことが、どの SDG s の目標達成に近づくのかを考えた。ごみを無くす、少なくすることでも多くの SDG s 目標につながることに気がつく授業ができた。最後に究極のリデュースである風呂敷包み体験を行い、楽しみました。



ごみを無くすことは多くの SDG S  
目標達成につながります



風呂敷2枚でリュックサックができるのは  
びっくりした

2校目は、10月22日（金）と26日（火）に相模原市立共和小学校4年生に「SDG s から地球環境問題を考える」をテーマに実施した。この学校では4年生は SDG s の学習はまだやっていないとのことで、SDG s をどのように教えたらいかがを模索中でした。SDG S をいかに分かり易く説明するかに知恵をしばり、身近な暮らしの中から環境問題と SDG s 目標を取り上げ、つながりを児童が見出すことに重点をおいて授業を進めた。

分かり易い言葉と言葉遣いに注意を払い、児童が理解しやすくなるように気を付けるとともに児童一人一人が積極的に手を挙げる機会を増やした授業とすることにより、水、気候変動や海の環境問題などが多くの SDG s とつながりがあることに気がついた。また学校側の要求である世界の動きや将来に向けた技術の動きも取り入れた最新の内容にした。



|   |   |
|---|---|
| <p><b>【編集後記】</b></p> <p>本71号には、投稿文「かながわに地域循環共生圏をつくる」、はま定例会報告、環境教育委員会活動報告&amp;予定、を掲載しました。</p> <p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されましたが、新たな変異ウイルス発生により、活動は制限されますが、かけがえのない地球を未来の世代に受け渡すために、今まで以上に情報発信をして活動することが求められています。(千葉)</p> <p>表紙の画像は、信越トレイルのハイキングに行った時に撮影したものです。信越トレイルでは、登山口、下山口に送迎してくれるので大変便利です。以前に比べて秋が短くなったように感じますが、青空と湖、紅葉した木々が輝いて見えました。(千葉)</p> | <p>〔発行〕 特定非営利活動法人<br/>かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)</p> <p>理事長：真砂文夫 / 編集人：千葉雅子</p> <p>◇住所：〒231 - 0001 横浜市中区新港2 - 2 - 1<br/>横浜ワールドポーターズ6階 NPO スクエア内</p> <p>◇電話：045-226-5822 FAX：045-226-5825</p> <p>◇E-メール：37keca@kke.biglobe.ne.jp</p> <p>◇URL：<a href="https://keca-kanagawa.jimdo.com/">https://keca-kanagawa.jimdo.com/</a></p> |
|---|---|